

繊維学部環境ガイダンス

～エコキャンパスにむけて～

2年生・3年生用

A continuous
improvement

P446-2 2015年度
教育訓練ガイダンス資料 2・3年生



ISO学生委員会
マスコット シルフィー君



信州大学繊維学部環境方針

〈基本方針〉

環境と教育および研究の融合を目指して、エコキャンパスを構築し、環境側面に適用可能な法的要求事項を順守するとともに社会に貢献するため、以下の活動を継続的に推進し、環境マネジメントシステムの継続的改善に取り組む。

1. 環境マインドを有する技術者・研究者を育成するために、実践的な環境教育活動を推進する。
2. 環境負荷低減に貢献する技術の研究開発に積極的に取り組み、循環型社会の実現に寄与する。
3. 環境に負荷を与えないような教育研究環境を維持する。
4. 省エネルギー、省資源、廃棄物の削減を推進する。
5. 水資源の有効活用に取り組み、排水が環境に大きな負荷を与えないように努める。
6. 環境方針と環境活動を公開するとともに、行政機関、地域や関係団体等との連携を密にし、社会全体の環境保全活動に積極的に参画・支援・協力する。

この環境方針は繊維学部サイトすべての構成員に周知し、一般の人々に公開する。

エコキャンパスカードに

◎所属する課程と氏名

◎「環境目的・目標を達成するために私は以下の活動をします」
に、今年1年間の活動内容を記入しよう

◎他にも緊急時の心得など、記載されているので、一通り読んでおきましょう！

Version 12 2015.4.1)

緊急時の心得

- ◎地震、火災等の緊急時は落ち着いて行動する。不確かな情報に惑わされない。
- ◎緊急連絡は0268-21-5300(学部代表) または0268-22-1252(警務員室) へ
- ◎信州大学上田キャンパス(繊維学部) はグラウンドが避難先です。
- ◎大学からの安否確認にはできる限り早く応じる。
- ◎電話の発信制限がかかっている場合にはメール、災害時緊急ダイヤル(171)、携帯電話各社の災害用伝言板を利用する。
- ◎AED(自動体外式除細動器)は救急 119番) 通報のうえ落ち着いて操作する。
- ◎AED設置場所は①警務員室(24時間対応可) ②講義棟南玄関③体育館④修己寮A棟玄関⑤マルベリーホール(生協) 玄関⑥機能高分子学棟玄関

環境配慮の心得

- ◎生き物を大切にする。
- ◎資源を大切にする。
- ◎人の繋がりを大切にする。

そのために…

- ◎電気器具や照明スイッチをこまめに切る。
- ◎暖房温度を下げ、冷房温度を上げる。(暖房 19℃、冷房 28℃を目安に)
- ◎朝早く起きて、昼に勉強して、夜は早く寝る。
- ◎水の使用量削減を心がける。
- ◎水を汚すものは流さない。
- ◎紙使用量を削減するため、両面コピーや両面プリントを推進する。
- ◎家庭(下宿)のゴミは、居住地の自治体の基準で分別。キャンパス内のゴミは、「ゴミ分別基準」で分別。
- ◎化学薬品、実験廃液、高圧ガスは手順書通りに取扱う。
- ◎指定喫煙場所以外では禁煙。受動喫煙を防止する。

環境目的・目標を達成するため、私は以下の活動をします。

エコキャンパスカード

信州大学繊維学部
環境マネジメントシステム



Faculty of Textile Science & Technology,
Shinshu University

所属

氏名

(このカードは環境に配慮したエコ間伐紙を使用しています。)

※エコキャンパスカードは常に携帯してください。

平成27年度の目標

- 目標1-1: 環境関連講演会または環境関連施設見学を年1回計画し実施する。
- 目標1-2: 環境関連図書フェアを年1回計画し実施する。
- 目標1-3: キャンパスの整備(清掃・樹木の手入れなど)を月1回行う。
- 目標2-1 : 年1回環境関連研究(テーマ数)を集計し、構成員に公表する。
- 目標2-2 : 定期的(月1回)にwebサイト等を更新し、外部へ情報発信する。
- 目標3-1: 化学物質の適切な管理の推進・意識付けを行う。
- 目標3-2: 不要な化学物質の削減の意識付けを推進する。
- 目標3-3: 環境負荷の少ない教育研究環境の保持のため、安全衛生法に即して点検を行う。
- 目標4-1: エネルギー使用量を、平成24～26年度の平均値を基準値として超過しない。
また0.5%削減を努力する。
- 目標4-2: **飲料缶の鉄とアルミの分別を徹底する**。廃棄物の排出量を平成24～26年度の平均値を基準値として超過しない。また0.5%削減を努力する。
- 目標5 : 上水使用量を平成24～26年度の平均値を基準値として超過しない。
また0.5%削減を努力する。
- 目標6 : 地域の環境関連活動に年1回参加するとともに、環境報告書を年1回発行する。

赤字の部分について、2・3年生に積極的に参加願います。

飲食した弁当・飲み物の容器は、講義棟
入り口、生協2階のゴミ箱に正しく分別して
捨てましょう。教室にゴミを置かないように。

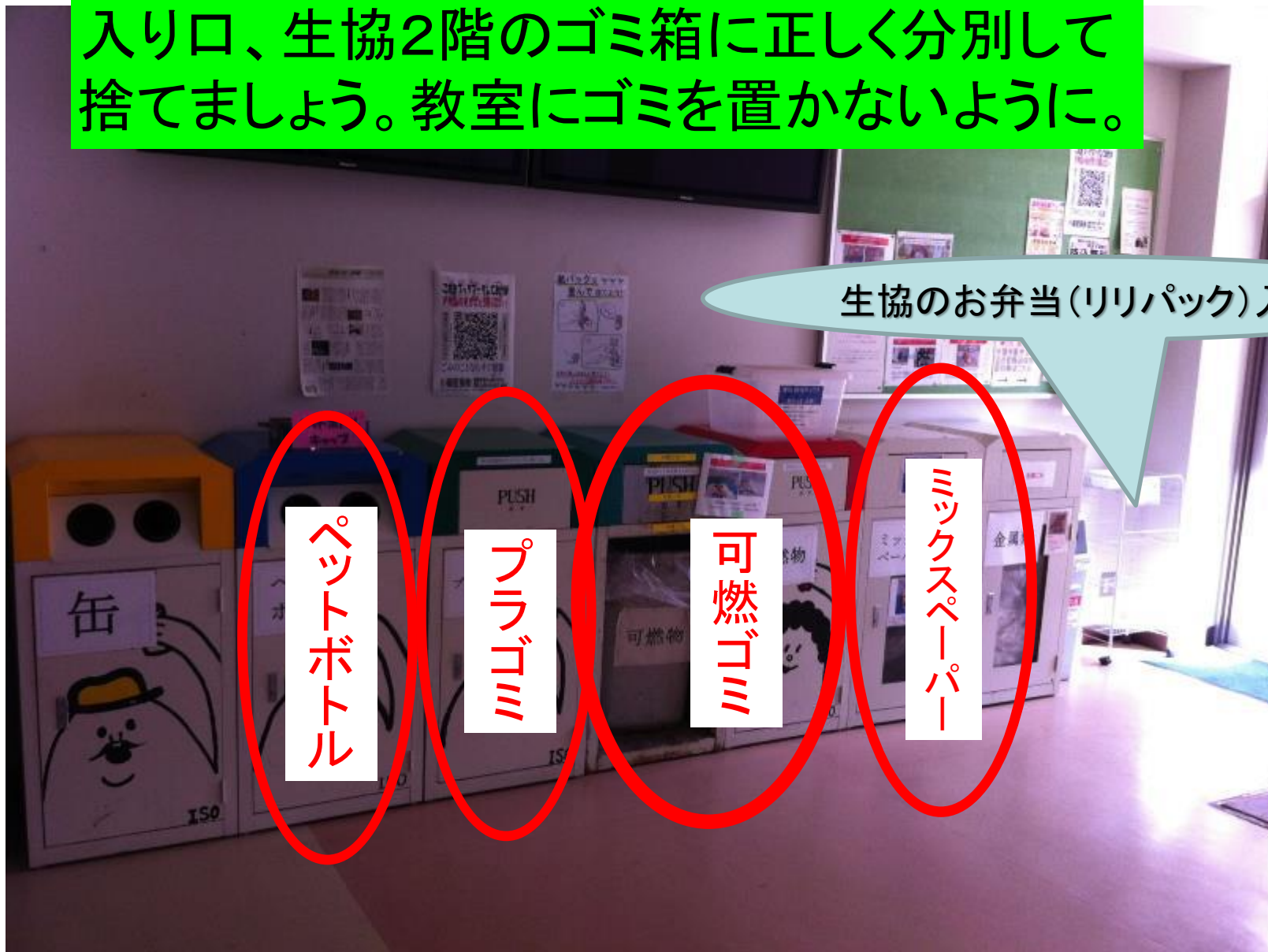
生協のお弁当(リリパック)入れ

ペットボトル

プラゴミ

可燃ゴミ

ミックスペーパー



ミックスペーパーとは、**レシートなどの手のひらサイズの紙**を指します。
(下の写真参考)
ミックスペーパーは溶解してトイレトペーパーとして再生されます。



○茶色紙
○汚れが激しい紙
○紙パック
は可燃ごみへ

○ホチキス付のメモ等
はミックスペーパーで
OK!

- 弁当の食べ残しなどの生ごみは、生協またはキャンパス内の生ゴミコンポストに捨てましょう。
- カップメンの残り汁は洗面台、給湯場の流しから絶対に捨てないで下さい。
排水中の油分増加により、下水道管が固まった油分でつまります。



生協1階 食堂下膳コーナー



生協2階 談話コーナー

残飯・残り汁は生協に用意されているバケツの中に捨ててください。

信州大学繊維学部 生ゴミコンポストの設置場所

- ▲ コンポスト
- ゴミステーション



弁当の残飯は、コンポストにいれてね！

● 堆肥置場

アパート・下宿などから
キャンパスに家庭ごみを持ち込むのはやめましょう！



住んでいる地域の分別ルールに従って、指定された日・場所でごみを出してください。(詳細は大家さんに聞きましょう)

今年も環境図書フェアを開催予定

秋に環境に関連の書籍(コミック)などを紹介する「環境図書フェア」を開催しますので、学生のみなさんぜひご来場ください。(貸出も行います。)



日常生活における注意事項

お知らせ



長野県道路交通法施行細則の一部改正
長野県警察

平成26年7月1日施行

自転車等の傘差し運転等の禁止!

第14条第13号・第14号関係



傘差しや、物を持つなど車両の安定を害するおそれのある運転が禁止されました。

今回禁止となる行為



① 傘を差して、
自転車等を運転すること



② 物を持つなど、
車両の安定を害するおそれのある
方法で自転車等を運転すること

※自転車等とは、自転車その他、大型自動二輪車・普通自動二輪車、原動機付自転車です。

○違反をした場合は「公安委員会遵守事項違反」となります。

罰則 5万円以下の罰金

反則金 二輪車 6000円 原付 5000円

自転車の傘差し運転はこんなにも危険!

自転車は軽車両なので、**左側通行**で**車道**を走るのが原則。

- 友達と並列走行や飲酒運転はダメ!
- スピードの出し過ぎに注意! 歩行者に衝突しないよう、注意を払って走行!
(事故の場合、高額な賠償責任を負うことも)
- 任意の自転車保険に入っておくことが望ましい。



日常生活における注意事項

スタンドの無い、ロードバイク、マウンテンバイク(MTB)、クロスバイクでキャンパスにきた場合

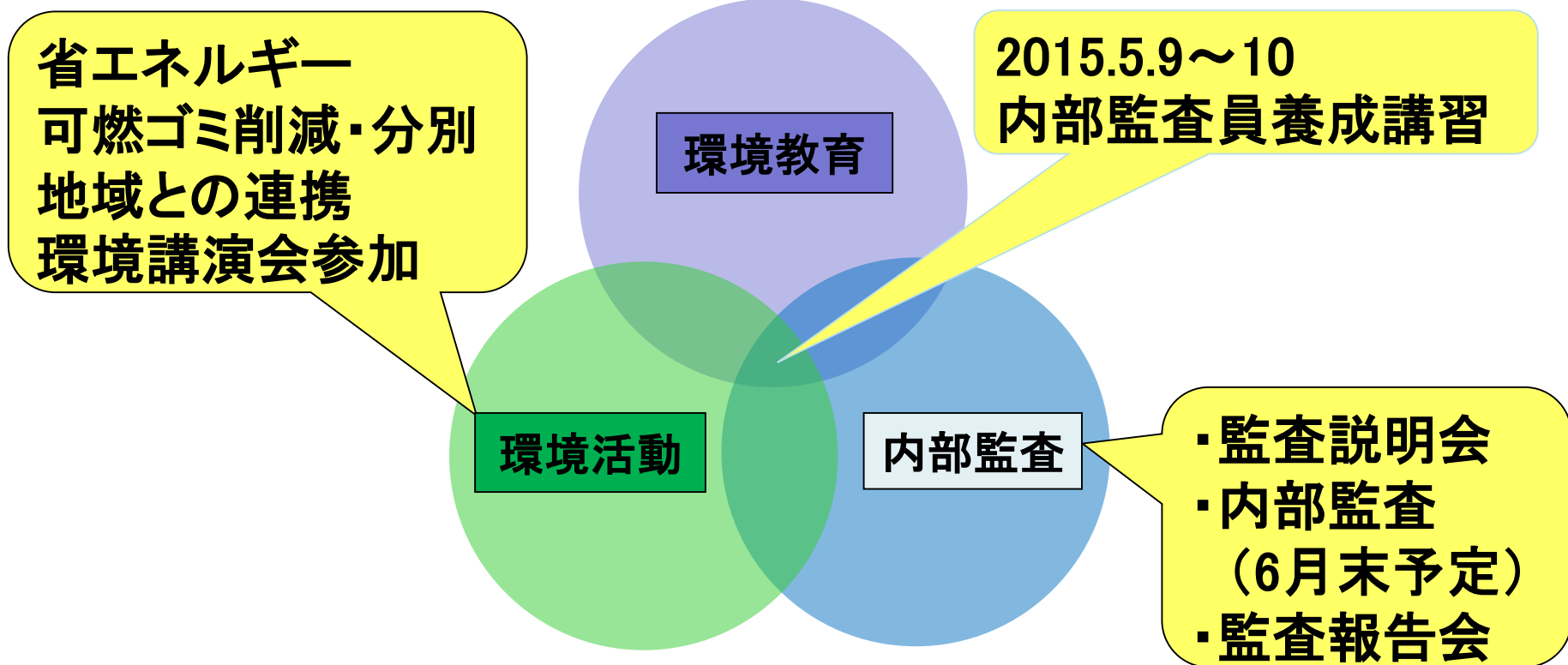


キャンパス内に専用のスタンド(○の部分)が各所にありますので、そこにサドルをかけて駐輪して下さい。

(盗難されないようにワイヤーロックをかけましょう)

ISO内部監査委員会の活動

信州大学は「環境マインドを持った人材の育成」及び「エコキャンパスの発展を通じて自主的な環境保全・改善活動の推進」を教育方針に掲げ、その一環として**ISO内部監査**への学生の参加を推進しています。



ISO 内部監査委員会とは

繊維学部環境マネジメント活動全体のチェックを行うグループ(教職員と学生で構成)

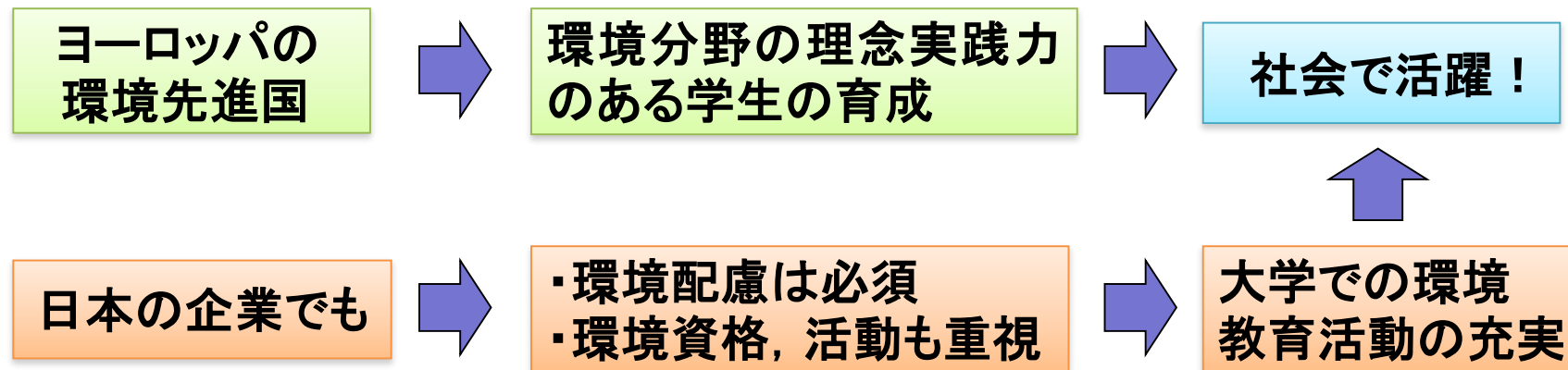
- ① 「内部監査員養成研修」を受講し、内部監査員資格を取得する。
- ② 内部監査委員会会議(第2回、第3回)に出席する。
- ③ 学生も内部監査員として、実際に内部監査などに参加する。

内部監査に参加することで、環境マネジメント活動の実際も把握できる。

実際の内部監査の様子



環境マインドの修得(国内外の環境に対する取り組み)



常に問題意識を！
エネルギー資源の有効活用
次世代へ引き継ぐ環境の維持・改善

環境マインドを備えた人材として
内部監査参加の経験を、社会においても
是非役立てて頂きたいと期待しています。

学生が内部監査員資格を取得して監査に参加すると、環境マインドの修得以外にもこんなメリットが・・・

1. 自分たちの修学・研究環境向上につながります
2. 活動が単位として認められます(自由単位1単位)
3. 資格取得講習会は無料で受講できます(本来は1万円)
4. 内部監査員資格は履歴書にも記載できます

ISO内部監査員になるためには

学部の授業

「環境内部監査実習」を必ず受講しましょう！

詳細は次で説明します。

本授業受講者は必ず**「内部監査員養成研修」**を受けることとなります。

「内部監査員養成研修」

開催日：2015年5月9日(土),10日(日)

一般には、この内部監査員養成研修は有料です。すでに説明した通り、**無料**です！



詳しくは環境ISO学生委員会またはISO事務局(庶務係)
senieco1@shinshu-u.ac.jpにお問い合わせください。掲示もします。

ISO内部監査による授業の単位取得方法

学生が**ISO内部監査員**として活動するためには、

「環境内部監査」

を受講する必要があります。（**1単位：自由単位**）。

単位取得の要件：

- ①内部監査養成研修(5/9,10)に参加—資格取得
- ②内部監査(6月末)への参加
(全体会議、監査チーム打ち合わせへの出席含む)
- ③レポート提出(A4一枚程度)

○単位取得について問い合わせ先：

ISO内部監査委員会執行部，各課程教務員，学務係
平成27年度 ISO内部監査委員会執行部

委員長： 高橋 伸英 (材料化学工学課程)

副委員長： 寺本 彰 (機能高分子学課程)

篠原 和夫 (技術部)

犬飼 一範 (事務部)